

4月16日（木）、17日（金）の2日間は、急なご連絡であったにも関わらず、学校での配付物の受け渡しにご対応いただき、誠にありがとうございました。本校職員は、保護者の皆様と顔合わせができ、お子様やご家庭の様子をお聞かせいただいたことで、ひとまず安心しているところです。今後もお問い合わせ、ご相談などがある場合には、お気軽に学校までご連絡をお願いします。

今回は、学校休業期間の過ごし方についてお伝えします。

児童の皆さんへ

今、日本だけでなく、世界中が大変な状況になっています。楽しみにしていた学校の再開も6月まで延期になってしまい、辛い毎日をご過ごしていることでしょう。

けれど、こんな時だからこそ、「命と健康の大切さ」や「平和で安心できる生活の大切さ」を感じてほしいと思います。一人一人の知恵で、自分の命を自分で守ってください。今の元気な姿を続けるために、感染を予防する呼びかけを必ず守るのです。

そして、世の中で起きていることに目を向け、自分にできることが何かを考え、実行に移してほしいと思います。富岡小学校の先生たちも、先生にしかできないことを考え、準備をしています。明けない夜はありません。やまない雨もありません。いつか安心できる日々は戻ってきます。

それまでの間、『今しか学べないこと』『今だから学べること』を学び、自分の成長へとつなげてください。

保護者の皆様へ

私たち富岡小学校職員は、過去に経験したことがない状況に対し、第一に子供たちの安心・安全を最優先に考えて、学校再開に向けて子供たちを迎える準備をするとともに、全職員の英知を結集して家庭で学習を進められるように注力してまいります。

保護者の皆様におかれましては、これまで同様に、毎日の『検温』『体調確認』『こまめな手洗い』『マスク着用』といった予防対策の徹底をお願いいたします。そして、感染リスクの高い『密閉』『密集』『密接』を避けることにも努めてください。ご家族の方も含め、不要不急の外出、大勢の人が集まる場所への外出（特に週末）についても、極力控えていただきますようお願い申し上げます。

現在、感染に関わる憶測や誤った情報がネット上に溢れ、医療現場や配達業務等に従事する方々への偏見、感染者に対する風評被害へと繋がるのが心配されています。県内に複数のクラスターが発生している現在、様々な情報を得て危険を避けようとするのは大切です。その際には、得た情報を鵜呑みにすることなく、科学的な根拠に基づいて複数の情報から実態を把握していただくことと、人権的な視点を忘れることなく対応していただくことをお願いいたします。

今のような状況だからこそ、確かな「認識」をもち、自らを見つめて「自己啓発」をし、正しい「行動」をする力をつけ、人権感覚を高めることが大切だと考えております。

(次頁に続きます)

インターネットを使った学習方法の提案と職員の安全対策について

現在、本校の職員は、岐阜県の「非常事態」宣言と「在宅での勤務」要請を受け、在宅での事務作業が可能になるように勤務形態を見直し、休業期間用の学習教材づくりを行っています。学習プリントに加えて、インターネットを通じた学習方法や教材の送付方法を検討しています。次回の教材配付の折には、ご家庭のインターネット環境について具体的な調査をさせていただきます。その上で、ご家庭に応じた学習方法を提案いたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

感染拡大を防ぐための「人との接触を8割削減する」の『接触』とは、直接的な接触や対面での食事に加え、「1メートル以内15分以上」が目安です。本校職員も、人との接触を減らすことに尽力し、一日も早い不安の解消に取り組んでいます。4月30日（木）5月1日（金）にお渡しする配付物についても、十分に安全面を配慮してお届けします。

留守番中の防犯対策について

他県においては、留守番中の子供が空き巣の犯人と鉢合わせする事案が発生しています。県内でも発生する可能性がありますので、各家庭での防犯対策をお願いします。

- 自宅の玄関、勝手口、窓の施錠は確実に行ってください。
- テレビや照明をつけるなど在宅中であることを外部にアピールしてください。
- 異変を感じたら110番通報や逃げ込める場所の確認などを親子で事前に話し合っておきましょう。

職員集合写真の紹介



前号では、今年度の職員名を紹介させていただきましたが、名前だけでは十分な紹介にはなっていません。そこで、今年度の「職員集合写真」を掲載させていただきます。担任の先生の表情や、新しく着任した先生の顔など、ご家族での会話が弾むことを期待しています。